

ベリーズ犯罪等発生状況（令和6年8月分）

[殺傷事件関連]

8月6日[銃撃事件] 午後10時30分頃、オレンジウォーク町のモンキーリバー通りにおいて銃撃事件が発生し男性（20歳）が死亡した。警察によると被害男性は自宅の庭先で買ってきた夜食を食べていたところ、路上から何者かに銃撃された。現場には40口径に使用される空の薬莢6発とスラッグ弾（散弾銃で使用可能な単発弾）3発が発見されている。被害男性は、1ヶ月前に同町で発生した男性（60歳）銃撃事件の容疑者であり、警察は事件の関係性について調査を行っている。

8月17日[銃撃事件] 午後10時30分頃、オレンジウォーク郡のタワーヒル村において、警備員の男性（35歳）が銃撃される事件が発生した。警察によると、被害男性は出勤途中にピックアップトラックに乗った見覚えのある男性3名に声をかけられ、その後口論に発展し、突然発砲され腹部に被弾した。その後、通報を受けて駆けつけた警察官により北部地域病院へ搬送されたが、弾丸が腹部に残っており危険な状態である。目撃証言から、現在も警察の捜査が続いている。

8月25日[銃撃事件] 午後8時頃、ベリーズシティのセメタリー通り沿いにあるガソリンスタンド付近で銃撃事件が発生した。警察によると、被害者は元サッカー選手の男性（23歳）で、覆面をした銃撃犯が機関銃と思われる銃で被害男性を襲撃した。銃撃犯はバイクに乗った別の男と合流し、その場から逃走した。その後、被害男性はKHM病院へ救急搬送されたが死亡が確認された。引き続き、警察は事件の捜査を行っている。

[強盗事件関連]

8月4日[刺傷強盗事件] 午後2時頃、ベリーズ郡ハティビル村において元ベリーズ市議会議員で現在は高等裁判所書記官の女性が刃物で刺されたあと強盗被害に遭った。警察によると、2人組の犯人は被害女性の知り合いので、1人が被害女性を刃物で刺した後殴る等の暴行を加え、その間にもう1人がiPhoneと財布からBZD3,000（約22万円）を盗んだ。その後、被害女性が路上に倒れているところを通行人が発見し警察へ通報、女性は病院へ搬送され治療を受け、容態は安定している。襲撃した犯人達は警察に拘留されており、余罪について取り調べしている。

8月6日[強盗未遂事件] 11時30分頃、ベリーズシティのフリータウン通り沿いにあるカ

ンブラネスビルの商店へ3名の強盗犯が侵入し、1名が射殺される事件が発生した。警察によると、強盗に入られた商店のオーナーが強盗犯から銃器を奪い、自衛のために発砲したところ強盗犯の内の1名に弾丸が命中し、そのまま死亡した。その後、他の2名はタクシーで逃走を図ったが、駆けつけた警察官により逮捕された。この2名は、強盗教唆と逃走援助に協力したタクシーの運転手と共に拘留されており、事件についての事情聴取が続いている。

8月10日[家電製品店強盗事件(当館注目事件)] 午前4時30分頃、カヨ郡ベルモパン市内の家電製品店において強盗事件が発生した。警察によると、ハミングバード・ハイウェイ沿いにあるコート・ベルモパン支店に武装した7名の強盗犯が襲撃し、店内へ侵入した。強盗犯達は、店内から携帯電話やノートパソコン、金庫内の現金を盗んで逃走した。後日、主犯格の男性3名が逮捕され余罪について事情聴取が行われている。

8月18日[強盗事件] 午後5時30分頃、ベリーズ郡バレル・ブーム村のブライアントエステート地区で強盗事件が発生した。警察によると、パン職人である女性とその母親が自宅でパンを焼いていたところ、開いていた裏口から大きな刃物を持った2名の強盗犯が侵入してきた。強盗犯達は親子を刃物で脅し、所持していたスマートフォンや腕時計、現金等を奪い逃走した。被害総額はBZD 1,850(約13万円)に上った。その後、容疑者1名が逮捕されたが、残りの1名は依然として逃走中のため、警察は広く情報を求めている。

8月22日[携帯電話窃盗事件] 午後6時頃、ベリーズシティのオレンジ通り1番地に住む洗車業者の男性(34歳)が女性の携帯電話を盗んだとして、刑務所へ送られた。事件は、8月18日に発生し、この男性は就寝中の女性からBZD 1,800(約12万円)相当のiPhoneと現金BZD 104(約7千円)を盗んだとして逮捕、起訴されていた。男性は窃盗の常習犯で過去にも複数の犯罪により有罪判決を受け収監されていた。7月に釈放されたばかりであったが、再び服役することになった。

8月30日[強盗殺人事件] 午前2時30分頃、カヨ郡サンイグナシオ町で強盗に遭い死亡した男性の遺体が発見された。警察によると、一般人女性が事件現場付近を通りかかった際、不審な男性2名が地面に倒れていた被害男性の所持品を物色していたところを目撃し、警察へ通報した。駆けつけた警察官が仰向けになって死亡している被害男性を発見した。その後、不審男性達は被害者のものと思われるバイクに乗って逃走を図ったが、付近の交差点で警察官に発見され、逮捕された。動機について警察は不審男性達から詳しく事情を聞くなどして、捜査を続けている。

[違法薬物、違法銃器等関連]

8月2日[違法薬物用のクラックパイプ所持] ベリーズシティで漁師をしている男性（26歳）が違法薬物使用目的でクラックパイプを所持していた罪で有罪判決を受け、罰金刑を言い渡された。事件は、7月30日にベリーズシティのビクトリア通り10番地で被告人の男性が薬物を吸引するため、クラックパイプを所持しているところをパトロール中の警察官に発見され逮捕、起訴された。なお、男性には前科があり、その際の罰金が未払いであったため、今回の罰金と合わせて合計 BZD1,100（約8万円）を月末までに支払うことができなければ懲役刑となる。

8月6日[銃器類の違法所持] ベリーズシティのザカランダ通り沿いに住む男性（27歳）が違法に拳銃と弾薬を所持していたとして逮捕、起訴された。事件は、8月3日の午後に発生した。同日、パトロール中の警察官が自宅の庭先で銃を所持している男性を発見し、確認したところ無許可での所持であることが判明した。弁護人なしで法廷に出廷した男性は、罪を認めつつ罰金刑を希望したが、拳銃と弾薬をそれぞれ所持していた2つの罪で禁固2年6ヶ月の判決が下された。

8月11日[銃器類の違法所持] カヨ郡ベルモパン市内のバスターミナルにおいてバス運転手の男性（31歳）と添乗員の女性（19歳）が逮捕、起訴された。警察によると、運転手が拳銃を所持している可能性があるとの通報を受け、駆けつけた警察官がバス車内を捜査したところ、運転手が所持していたバックの中から拳銃と弾薬が発見された。運転手と添乗員は自衛のために拳銃を所持していたと述べたが、拳銃許可証を所持していなかったため、その場で逮捕され、その後起訴された。

8月14日[公共の場で大麻使用] ベリーズシティのウェスト・カナル在住の男性（21歳）が大麻使用の罪で逮捕、起訴された。事件は、セントラル・アメリカン・ブルーバードの路上でバイクを修理していた容疑者男性が大麻を吸っているところをパトロール中の警察官に発見され、逮捕された。8月15日に保証人なしで出廷した容疑者男性は自身の罪を認めたが、自分が悪いことをしているとは思わなかったと説明した。裁判官は、控訴費用を含めた BZD155（約12,000円）の判決を下した。

8月26日[違法薬物の所持] 午後10時30分頃、ベリーズ郡サンド・ヒル村に住む建設作業員の男性（33歳）が大麻を所持していたとして逮捕、起訴された。警察によると、フリップ・ゴールドソン・ハイウェイで行われた検問で男性が乗っていたバイクから115gの大麻草が発見され麻薬密売の容疑で逮捕されたが、早期に有罪を認めたことで規制薬物所持の罪として BZD 800（約5万6千円）の罰金が言い渡された。

8月27日[**違法薬物の所持**] 午前5時30分頃、ベリーズシティのバナック通りにおいて違法薬物の摘発が行われ、家主の女性とその従兄弟である男性警官、女性の内縁の夫の3名が逮捕、起訴された。警察によると、住宅で不審な取引が行われているという通報を受け、駆けつけた警察官が家宅捜査をした結果、家に置いてあった樽の中から警察の制服とビニール袋に入った大麻草を合計1,082g 発見した。家主の女性は法廷で、違法薬物は警察に申告していたと説明した上で、早期に有罪を認めた。上級判事は女性に対して早期に有罪を認めたことと初犯であることを考慮し、総額BZD 2,500（約17万6千円）の罰金刑を言い渡した。女性の有罪答弁を受け、検察官は従兄弟である男性警官と内縁の夫への告訴を取り下げそのまま釈放し、家主の女性がすべての責任を負った。

8月28日[**違法薬物の密輸**] 午後1時頃、ベリーズシティのフィリップ・ゴールドソン国際空港で19.8g の大麻草を輸入した罪で建築家兼投資家のアメリカ人男性(37歳)が逮捕、起訴された。男性は法廷で自国では合法である旨を述べたが、ベリーズ上級治安判事は、大麻輸入はベリーズ国内の路上で同量の大麻を所持していた場合よりもはるかに重い罪であると説明した。その上で、今回は初犯であることと早期に有罪を認めたためBZD 2,000（約14万円）の罰金刑を言い渡した。

8月28日[**公共の場で大麻使用**] 午後5時30分頃、ベリーズシティのピックス・アレー地区で大麻草を使用した罪でレストラン従業員の男性（18歳）が逮捕、起訴された。警察によると、若い男性がタバコのような物を吸っているのを見かけ、近づいたところ大麻草特有の強い臭いがしたためその場で拘束された。法廷での有罪答弁で、この男性は早期に有罪を認めたことと初犯であったことから、BZD 100（約7千円）の罰金刑が言いわたされた。

[その他事件・事故関連]

8月6日[**サメによる襲撃（当館注目事件）**] 午前11時30分頃、ライトハウスリーフ環礁にあるハーフムーンキー沖でアメリカ人少女（15歳）がサメに襲われて負傷した。湾岸警備隊によると、被害少女は家族と夏休みを過ごすために米国からベリーズへ訪れており、ハーフムーンキー沖でダイビングを楽しんでいたところ体長約180cm のサメに襲撃され右足を切断する重傷を負った。専門家は希な事故であったとしつつ、海洋生物に近づく際には注意を払う必要があると呼びかけている。